

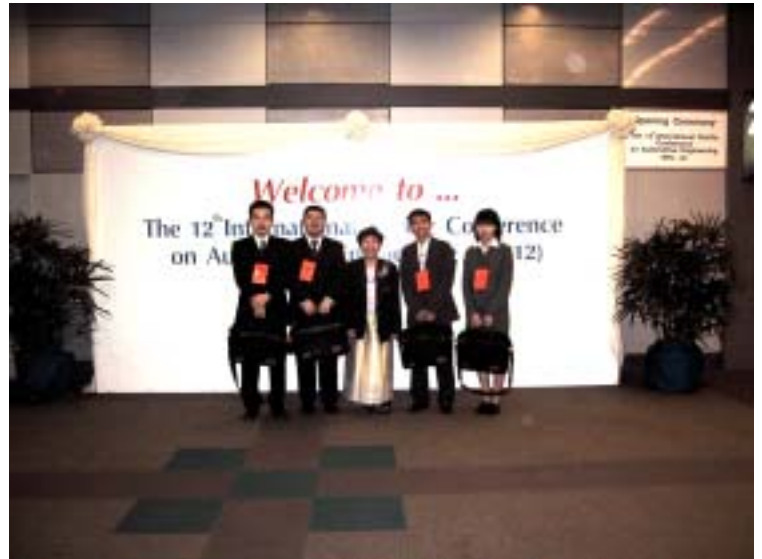


# 「IPC-12での感動的な経験」

中村建樹(東京大学工学系研究科機械工学専攻)

## 1. 学会日程

- 3/31: 現地到着
- 4/1 : オープニングセレモニー出席  
テクニカルセッション聴講
- 4/2 : テクニカルセッション聴講  
モーターショー見学
- 4/3 : 発表(学生プログラム)  
クロージングセレモニー
- 4/4 : トヨタ工場見学
- 4/5 : 日本帰国



開会式会場前にてTSAE会長と

## 2. 参加プログラムの詳細

### 4/1: オープニングセレモニー

オープニングセレモニーに出席しました。各国の自動車技術会会長や国際自動車技術会連盟会長のお話を伺い、アジア諸国の自動車産業のグローバル化の現状など大変勉強になりました。日本の神本会長の、「従来重要視されてきた衣食住に加え、近年 Transportation と Information が必要不可欠になっている」と言うお話が非常に印象的でした。環境問題についても多くの方がお話になり、私の発表内容と重なる点もあり大変参考になりました。



神本会長のスピーチ

### 4/2: テクニカルセッション聴講

ほぼ一日中テクニカルセッションに出席し、各研究発表を聴講しました。私の英語ヒアリング能力の問題もあり全てを理解できたわけではありませんが、多くの分野の最新の研究を知ることができ、非常に密度の濃い勉強をすることができました。特に日本企業の方の発表には非常に興味を惹かれました。

また、発表の合間に、同じ会場内で行われていたモーターショーを見学しました。日本でもモーターショーは何度か見学していますが、バンコクでもやはり多くの日本メーカーが出展しており、日本の自動車産業の重要性を再認識されました。



テクニカルセッションの様子

#### 4/3: 発表(学生プログラム)

(1) 研究発表題目:

##### Automotive industry in Japan

— actual situation and future prospects—

(2) 準備・発表内容と発表会場の様子:

昨年12月に概要を自動車技術会に提出し、年が明けてから英文の原稿を完成させました。内容は、日本の自動車産業の現状と今後の展望について、環境問題と環境関連技術を切り口にまとめました。そして、世界の自動車産業における日本の重要性と、地球温暖化問題を絡め、日本自動車産業がその責任を全うし規模を維持するためには環境対策技術で世界をリードしなくてはならない、というテーマで発表を行いました。資料はパワーポイントで計7枚のスライドを用意しました。

当日の発表会場には予想以上に多くの方が参加され、各国の自動車技術会会長や国際自動車技術会連盟会長もいらっしゃいました。

発表自体は問題なく終えることができました。質問もして頂き、出席者の方にもフォローして頂いて問題なく終了しました。

(3) 感想:

私の英語力の問題として、発表する際の発音や、質問内容の理解力はこれから一層磨かなくてはならないと感じました。しかしそれ以上に、使用言語以前のプレゼンテーション能力こそが重要だと言うことを痛感しました。ネイティブでない多くの方々を相手にするからこそ、発表を聞く気にさせる説得力のある話し方が必要だと思いました。

#### 4/4: トヨタ工場見学

トヨタの GATEWAY PLANT を見学させて頂きました。今年の3月に愛知県のトヨタの工場も見学させて頂いていたため、今回の見学では両者の違いを探すことを個人的なテーマとしていました。

しかし、実際に見学させていただいた工場は、日本で見せていただいたものとまさに同じであり、徹底的に合理化され普遍化している自動車産業の量産システムを改めて認識しました。また、今回の学会中は常にバンコクに滞在していたため、タイの郊外の雰囲気を経験することができ非常に良い経験になりました。



発表風景



TOYOTA GATEWAY PLANT にて

### 3. IPC-12に参加して得た事

全日程を通じて、オーストラリア、韓国、マレーシア、タイの学生の方々と知り合うことができ、非常に多くの刺激を受けました。特にタイの学生には、土地に不慣れな私達を非常に親切にもてなして頂き、大変お世話になりました。彼等とは今後も交流を保ち、自動車関係の仕事に携わることでまた出会うこともあると思いますので、互いに協力していければ大変幸せだと思っています。

また、各セレモニーなどで、多くの企業や自動車技術会の方のお話を伺うことができ、大変勉強になりました。今後の学生生活及び社会に出た後に、今回得ることができた多くの知識と経験が糧になると思います。

そして、今回私が得た最も重要な経験は、国際社会での社交性の重要性の再認識です。語学力は勿論ですが、それ以前の社交性こそ、これから先世界で活躍できる人材になるために最も必要なものであると考えています。国民性の問題でもあるとは思いますが、今回お会いしたアジア諸国の方は皆非常に気さくな方ばかりで、目が覚めるような感動的な経験でした。今後、海外で学会発表や仕事をする経験は必ずあると思いますが、今回の経験を生かし自分を磨いておきたいと考えています。

最後になりましたが、このような貴重な経験を積む機会を設けて頂いた自動車技術会の皆様、不慣れな私達に大変親切にして下さったタイの皆様、そして他にも多くのサポートをして頂いた皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。大変ありがとうございました。



学生プログラム参加者の集合写真



モーターショー会場にて



寺院入口にて